

5. 暴露量調査対象物質の分析法概要

物質名	分析法フローチャート	備考
<p>[1]アクロレイン</p>	<p>【室内空気】</p> <p>室内空気 → 固相捕集 (0.1L/分×24時間(144L) CNET-A+オゾンスクラム) → 溶出 (アセトリル5mL) → イオン交換 (IC-SP-M) → 濃縮 (1mLまで) → LC/MS-SIM-ESI-ポジティブ</p> <p>シリコンスルフィド添加 アセト-d₆ 100ng</p> <p>「平成15年度化学物質分析法開発調査報告書」準拠</p>	<p>分析原理：LC/MS-SIM-ESI-ポジティブ</p> <p>検出下限値： 【室内空気】 (ng/m³) [1] 0.73</p> <p>分析条件： 機器 LC：Agilent 1100 MS：Applied Biosystems API2000 カラム Cadenza CD-C18 2.0mm×100mm, 3μm</p>
	<p>【食事】</p> <p>食事試料 (湿重量 5g) → 溶媒抽出 (メタノール 10mL, 蒸留水 20mL, メタノール 10mL) → 脱脂 (ヘキサン10mL) → 誘導体化 (PFBOA (6,000mg/L水溶液) 1mL) → 溶媒抽出 (ヘキサン10mL×2回) → 濃縮 (窒素ガス気流下 1mLまで) → GC/MS-NCI</p> <p>シリコンスルフィド添加 フルオランテン-d₁₀ 50μg</p> <p>「化学物質環境実態調査の手引き (平成17年3月)」準拠</p>	<p>分析原理：GC/MS-NCI</p> <p>検出下限値： 【食事】 (ng/g-wet) [1] 0.090</p> <p>分析条件： 機器 GC：TRACE GC 2000 MS：Polaris Q カラム SGE BPX35 30mm×0.25mm, 0.25μm</p>